

特殊詐欺の認知状況(令和2年5月末)

～5月は6件の被害を認知～

1 県内の特殊詐欺の認知状況 (令和2年5月末現在)

- 被害認知件数は12件 (前年同期比±0件)
- 被害額は約7,174万円 (前年同期比ー約8,200万円)

2 令和2年5月中の認知状況

- 被害認知件数は6件 (前年同月比+5件)
- 被害額は約5,596万円 (前年同月比+約5,579万円)
- 手口は
預貯金詐欺～1件、架空料金請求詐欺～4件、金融商品詐欺～1件
- **6件中5件は、65歳以上の高齢者被害**

3 県内で発生した特殊詐欺被害事例の紹介 (5月中)

5月は、高齢者被害(6件中5件)が相次ぎました。

このうち2件は、被害者の携帯電話に「NTTファイナンス」という実在する会社を装い、「ご利用料金の確認が取れていません。本日中にご連絡ください。」などのショートメールが送られてきたことから、被害者が指定された連絡先に電話したところ「有料サイトの未払いがある。」「支払わなければ裁判になる。」などと言われ、電子マネーカードを購入してカードの番号を犯人に教え、利用権をだまし取られた事案でした。



「電子マネーで支払って!」「電子マネーの番号を教えて!」

は全て詐欺です!!

慌てて購入せず、必ず家族や警察に相談して被害を未然に防ぎましょう!

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和2年5月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	-	-
20～29	-	-	-
30～39	-	-	-
40～49	1	-	1
50～59	1	-	1
60～64	2	-	2
65～69	1	1	2
70～79	1	1	2
80～89	2	2	4
90～	-	-	-
合計	8	4	12
うち65歳以上の高齢者	4	4	8

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和2年5月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	3
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	4
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	1
キャッシュカード手交型	1
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	1
合計	12